

平成 24 年度日本植物病理学会関西部会のお知らせ

平成 24 年度関西部会開催地委員長 尾谷 浩

平成 24 年度日本植物病理学会関西部会を下記のとおり開催致しますので、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

I. 日程と会場（時刻は予定です）

- ・日時：平成 24 年 9 月 27 日（木） 13：00～14：00 総会
14：30～17：30 一般講演
18：30～20：30 懇親会
- 平成 24 年 9 月 28 日（金） 9：00～12：00 一般講演

- ・会場：とりぎん文化会館（鳥取県民文化会館） 〒680-0017 鳥取市尚徳町 101-5
- ・懇親会場：ホテルモナーク鳥取 〒680-0834 鳥取市永楽温泉町 403 (<http://www.hotel-monarque.jp/>)

II. 参加申込

- ・締切：平成 24 年 8 月 8 日（水）
- ・費用：参加費 3500 円（締め切り日以降は 4500 円）、講演要旨集 1 部 2500 円、懇親会費 6000 円（学生 3000 円）
- ・要領：同封の郵便振替払込取扱票（口座番号：01330 - 5 - 88854、加入者名：平成 24 年度日本植物病理学会関西部会）(他行からの振込の場合 店名：一三九(イチサンキュウ)店、預金種目：当座、口座番号：0088854) に必要事項を記入し、締切日までにご送金ください。払込用紙の通信欄のコピーを、領収書・講演要旨集などの宛先ラベルとして使いますので、送り先・氏名などは正確に記入して下さい。郵便振替払込取扱票による送金をもって部会参加の申し込みとします。整理の都合上、払込用紙は参加者 1 名ごとに 1 枚をお使いください。払込用紙をさらに必要とされる場合は、郵便局に備え付けの用紙をご利用ください。参加を申し込まれた方には、9 月上旬に講演要旨集ならびに名札をお送りします。この名札は領収書を兼ねますので、部会参加期間中は必ず携行してください。

III. 発表申込

- ・締切：平成 24 年 8 月 8 日（水） 17：00
- ・要領：発表ができるのは日本植物病理学会会員（平成 24 年度会費納入者）で、1 人 1 題のみとします。発表希望者は、末尾「講演要旨原稿作成要領」に従って講演要旨原稿を MS-Word ファイルで作成し、E-mail 添付ファイルとして関西部会プログラム担当用アドレス (byori-pg@muses.tottori-u.ac.jp) 宛にご送付下さい。E-mail の題名（件名）は、「要旨」+「:」+「発表者氏名」として下さい。また、添付ファイル名は「発表者氏名.doc あるいは.docx」として下さい。原稿が正しく受け付けられた場合には、受け取りのメールを送付者宛に返送します。受け取りのメールは 1～3 日で送付しますが、届かない場合は正しく受け付けられていない可能性がありますので再送付して下さい。講演要旨原稿送付をもって発表の申し込みと致

します。なお、講演要旨は座長等による審査の後に「日本植物病理学会報」に掲載されます。

IV. 発表の形式と要領

- ・発表形式：今年度の部会での発表は口頭のみで行います。ポスター発表は行いません。
- ・口頭発表要領：口頭発表は討論時間を含めて12分程度を予定していますが、演題数によって変更することがあります。当日発表で使用するPCは全てWindows機で、PowerPoint 2007がインストールされていますので、発表ファイルは「PowerPoint 2007あるいはそれ以前のバージョン」で作成して下さい。発表用ファイルは、前もってWindows版「PowerPoint 2007」で正常に表示されることをご確認ください。ファイル名はすべて半角で「講演番号-発表者姓」として下さい（例「123-Otani」）。ファイルは必ずCD-Rに保存し、さらに、そのCD-R表面に講演番号と発表者氏名を油性マジックで記入の上、受付に提出して下さい。また、重いファイルはパソコンの動作に不具合をきたすことがありますので、できるだけ軽いファイルにして下さい。

V. 宿泊と交通

開催地事務局では宿泊・交通等の斡旋は行いませんので、各自で手配をお願いします。鳥取市はコンパクトな街で、JR鳥取駅周辺に多数あるホテルは会場まで徒歩圏内です。会場までの公共交通機関（バス）・タクシー・レンタル自転車等も利用可能です。

<会場までのアクセス>

JR鳥取駅：徒歩20分／バス・タクシー5分、鳥取自動車道：鳥取ICから約15分



VI. 連絡先

平成 24 年度関西西部会に関する各種お問い合わせは、開催地事務局（尾谷 浩・児玉基一朗）へお願い致します。講演発表の申し込みはプログラム担当（上中弘典・長谷川優）までお願い致します。

- ・平成 24 年度日本植物病理学会関西西部会開催地事務局

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学農学部生物資源環境学科

TEL&FAX : 0857-31-5355 (尾谷 浩)、31-5364 (児玉基一朗)

E-mail : byori@muses.tottori-u.ac.jp

- ・関西西部会プログラム担当

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学農学部生物資源環境学科 上中弘典

〒689-2221 鳥取県東伯郡北栄町由良宿 2048 鳥取県農林総合研究所企画総務部 長谷川優

E-mail : byori-pg@muses.tottori-u.ac.jp

講演要旨原稿作成要領

昨年度と同じです。

<全体の大きさ> 和文講演者氏名から所属略称までが、縦 73mm、横 161mm の枠におさまるようにする。1 つのファイルに収める講演要旨原稿は 1 つとすること。

<ページ設定>

ー用紙サイズ：A4 用紙、縦方向。

ー余白：上 15mm、下 30mm、左 25mm、右 25mm。

ー文字数と行数：「文字数と行数を指定する」を選択し、文字数 50、字送り 9pt、行数 51、行送り 14pt にする。

<配置> 両端揃え（所属略称のみ右端揃え）

<フォント>

ーフォントサイズ：すべて 9pt。

ー日本語用フォント：平成明朝または MS 明朝（但し和文題目のみ平成角ゴシックまたは MS ゴシック）

ー英数字用フォント：Times New Roman。すべて半角。

ー句読点：「,」「,」

ーイタリック指定：題目、本文中とも、学名などイタリックにする必要があるものはすべてイタリックで表記。

<和文講演者氏名> (1 行) 講演者が複数の場合は中点「・」で区切り、発表者名の前に丸印「○」をつける。所属が異なる場合には、「*」「**」で区別する。

<和文題目> (2 行以内) フォントは平成角ゴシックまたは MS ゴシックとする。

<英文講演者名と英文題目> (2 行以内) 氏名は、family name, first name initial, middle name initial の順に書き、initial の間にはスペースを空けない。講演者名と英文題目の間は、コロン「:」で区切る。

<本文> 9 行以内で記載する。

<所属略称> (1 行) 括弧「()」に入れ、右端揃えとする。複数の場合は中点「・」で区切り、和文講演者氏名に対応させて「*」「**」をつける。

講演要旨原稿の下に、以下の情報を記入する。

- (1) 発表希望分野 (「糸状菌病」「細菌病」「ウイルス病」「その他」の中から1つ選ぶ)
- (2) 発表内容 (「分類・同定・診断」「発生生態」「感染生理」「防除」「その他」の中から1つ選ぶ)
- (3) 対象植物 (和名または学名で示す)
- (4) 対象微生物 (和名または学名で示す)
- (5) 原稿送付者の氏名
- (6) 原稿送付者の E-mail address
- (7) 発表者の学会会員番号 (平成 24 年度会費未納の方は、至急会費をお支払いください。)

講演要旨原稿の例

(実際の大きさです。点線枠は要旨集に掲載される範囲を示すもので、印字の必要はありません。)

○赤木靖典・播本佳明*・柘植尚志*・尾谷 浩・児玉基一郎

トマトアルターナリア茎枯病菌が保有する conditionally dispensable chromosome (CDC) の構造解析

Akagi, Y., Harimoto, Y., Tsuge, T., Otani, H. and Kodama M.: Structural Analysis of a Conditionally Dispensable Chromosome in the Tomato Pathotype of *Alternaria alternata*.

トマトアルターナリア茎枯病菌 (*A. alternata* tomato pathotype, 茎枯病菌) は、ポリケチド化合物である宿主特異的 AAL 毒素を生産することにより、特定のトマト品種に著しい壊死病斑を引き起こす。これまでに調査した AAL 毒素生産菌 (病原菌) は、全て 1.0 Mb の CDC を保有しており、本染色体上に AAL 毒素生合成に関与する *ALT* クラスターが座乗していることが明らかとなっている。また、本 CDC は水平移動により茎枯病菌集団中に拡散した可能性が示唆されている。本研究では、CDC の構造解析をショットガン法による配列決定および optical mapping により行った。また、CDC の rare cutting enzyme (*NotI*) による RFLP 解析を行った。CDC 配列情報に基づく ORF 予測の結果、本染色体上には *ALT* クラスター遺伝子に加え、転写調節因子、二次代謝産物生合成・分解酵素、分泌蛋白質等の遺伝子が座乗していることが明らかとなった。さらに、全塩基配列解析、optical mapping および *NotI*-RFLP 解析から、本染色体は同腕染色体 (isochromosome) である可能性が示唆された。

(鳥取大農・*名大院生農)

- (1) 糸状菌病
- (2) 感染生理
- (3) トマト
- (4) トマトアルターナリア茎枯病菌
- (5) 赤木靖典
- (6) xxxxx@xxx.xxx-u.ac.jp
- (7) 123456